

コミュニティ・スクールだより

南関町教育委員会教育課



南関町の各小中学校では、地域住民と連携、協働で行われるコミュニティ・スクール活動を行っています。今回は各小学校のコミュニティ・スクール活動を紹介します。



各小学校のコミュニティ・スクール活動の取り組み



南関第一小学校

5年生が家庭科の授業でミシンを使って、ナップサックを作りました。地域の人や学校応援団に協力を依頼し、ミシンが思うように動かない時や糸が引っ掛った時など困った時にサポートしてもらいました。使い慣れないミシンに四苦八苦しましたが、丁寧に指導してもらい、子どもたちはナップサックを仕上げていくことができました。完成したナップサックをみて「上手にできた!」と喜び、友達と見せ合いました。



サポートしてもらう様子

南関第二小学校

3年生が高齢者施設「和楽荘」を訪問しました。児童がお年寄りと楽しめるように工夫したゲームを一緒に楽しみました。ゲームはボウリングなどを行い、得点が高かった人は児童手作りのメダルを受取り、参加者全員には参加賞とお手紙のプレゼントがありました。プレゼントを受け取ったお年寄りのうれしそうな笑顔が印象的でした。



ゲームを楽しむお年寄り



プレゼントを渡す児童

南関第三小学校

2年生が高齢者施設「ホーム谷崎」を訪問しました。金栗四三をテーマに同校児童が歌詞を考えたオリジナルソング『RUNNER～人生をかえた十二キロ』の歌などを披露し、その後お年寄りと一緒に『お弁当箱のうた』や『おもちゃのチャチャチャ』等で手遊び歌を行いました。お年寄りも懐かしそうに手遊び歌を口ずさみ、一緒に楽しみました。



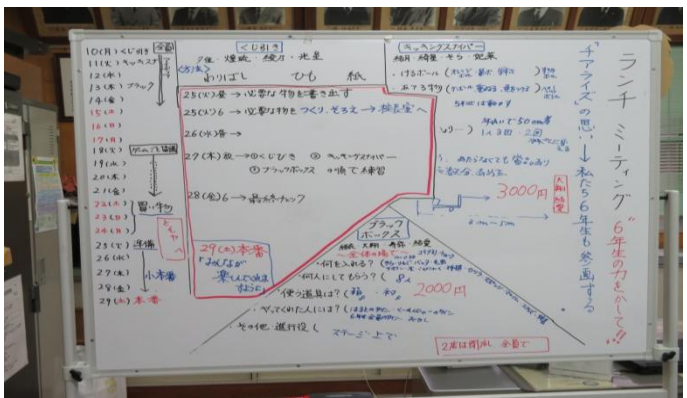
歌を披露する児童たち



手遊び歌を楽しむ児童とお年寄り

南関第四小学校

四小で秋祭りが行われました。これまでは四小を盛り上げる会「チアライズ」の主催でしたが、今年は6年生も参画しました。祭り成功のために1ヵ月間ランチミーティングで知恵を出し、意見を交わしました。さまざまな準備を経て迎えた当日、子どもたちは「準備は大変だったけど、楽しいです！」と話してくれました。お客さんが帰った後の後片付けまで頑張りました。チアライズや保護者の支えもあり、大成功の秋祭りになりました。



ランチミーティングのメモ



秋祭りを楽しむ人たち



ご案内



南関中学校では、月に一度「学校開放週間」を行っています。学校開放週間は、保護者・地域の皆さんに学校教育への理解を深めてもらう事を目的とし、“地域とともにある学校づくり”“開かれた学校づくり”を進めています。この期間はいつでも自由に入出りできますので、ぜひ足を運んでみてください！来年度の日程は決まり次第お知らせいたします。



子どもたちの豊かな成長のためにコミュニティ・スクールへのご意見は教育委員会へお願いします。

文) コミュニティ・スクール ディレクター 佐野